

Second Takizawa City Comprehensive Plan

第2次

滝沢市総合計画

概要版パンフレット

基本構想 令和6年度～令和13年度

前期基本計画 令和6年度～令和9年度



《やさしさに包まれた滝沢》を目指す 『第2次滝沢市総合計画』が始まります

総合計画は、市のまちづくりの基本的な方向性を定めた計画です。

第2次滝沢市総合計画は、市の将来像である「誰もが幸福を実感できる活気に満ちた」地域の実現に向け、令和6年度から令和13年度までの8年間で、市民それぞれの周囲にやさしさが循環するような社会的包摂性が高い地域社会「やさしさに包まれた滝沢」を創出することを目指した『地域社会計画』です。



やさしさの中で一人一人の個性や多様性を尊重し合い、自分が誰かを支える存在であるという実感を持ちながら充実した生活を過ごせる環境

やさしさに包まれた滝沢



やさしさの循環

目指しているのは
市民の主体的な活動によって
「やさしさ」が循環する地域環境の実現


やさしさに包まれた滝沢のイメージ

第2次滝沢市総合計画には…

市民みなさんの意見が反映されています

第2次滝沢市総合計画は、^{※1}懇談会や市民アンケート調査などで市民の皆さんから寄せられたたくさんの意見を取り入れて策定しました。

感じる やさしさを
「とき」や
「まちのイメージ」



- 困っているときに助けてくれる
- 挨拶が盛んなまち
- 子育て中の支援策にやさしさを感じていた
- 自分の意見が届くまち
- 地域の子どもが農業に触れ合える機会
- 子どもが横断歩道を渡った後のお礼
- 知り合える場がたくさんあるまち
- 子どもが将来戻ってきたいと思える地域
- 就職先があること
- 一人ではできないことをみんなで協力する
- 暮らしに役立つ情報が共有されているとき
- 年代や性別を超えた交流が活発なまち
- バリアフリー化が進んでいるとき
- スクールガードさんを見ると感じる
- 年齢を重ねても安心して暮らせるまち
- 子どもの笑い声が聞こえる
- 障がい者も安心して暮らせるまち
- 子どもの遊ぶ場所を守れるまち
- ごみがないまち、自然が豊かなまち

懇談会で寄せられた市民からの意見の例

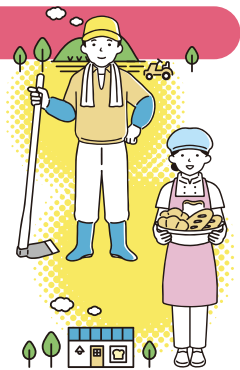
人とのかかわりの観点

人とのかかわりを感じながらいきいきと暮らせること(交流・人間関係、地域コミュニティなどに関すること)



充実した暮らしの観点

自分に見合った生き方の選択肢があり自分らしく活躍することができること(産業振興、雇用、観光、学び、伝統・文化の継承などに関すること)



安全・安心な暮らしの観点

安心して暮らすことができる生活環境基盤や制度が確保されていること(自然環境の保全、防災・防犯体制の構築、保健・福祉・医療体制の確保、社会インフラ整備、公共交通の確保などに関すること)



子育ての観点

未来のある子どもたちを伸び伸びと育むことができること(子ども、学校教育、子育て支援などに関すること)



※1 「市政懇談会」及び「市長と話そう」を令和5年4月～7月までの間に34回開催しました。延べ515人の市民の皆さんと懇談し、400件を超える様々な御意見をいただきました。

第2次滝沢市総合計画の展開

基本構想(8年間)には、総合計画が目指す状態と、3つの基本方針を掲げています。

また、基本構想の実現に向けた取組を具体的に進めるため、8年間の総合計画期間を前期と後期の2つに区分し、4年ごとの『地域社会行動計画』として、基本計画を策定しています。

基本計画は、市民の皆さんが主体となる『地域別計画』と市行政が進める『市域全体計画』の2つの計画で構成しています。

計画期間中の市の行政運営は、この市域全体計画に基づき政策展開を進めます。


















毎年度の事務事業の執行に当たっては、市域全体計画に示した施策の具体化のため、事務事業の内容や年度別事業費などをまとめた実行計画を毎年度策定し、計画的に事務事業を進めます。

また、総合計画の進捗度合いを測定するため、16項目の指標(「たきざわやさしさ指標」)を設定しています。アンケート調査などによって、進捗状況を捉えながら、第2次滝沢市総合計画を展開します。

第2次滝沢市総合計画の体系



第2次滝沢市総合計画の進捗の測定 (「たきざわやさしさ指標」と目標値)

区分	項目	基準値 (年度)	令和9年度 目標値	令和13年度 目標値
将来像指標	①滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 	56.8% (令和5年度)	61.0%	65.0%
	②滝沢市は活力に満ちた地域だと感じている人の割合 	29.7% (令和5年度)	35.0%	40.0%
市民のかかわり指標(主観的)	③自分が誰かを支える存在であると感じている人の割合 	58.1% (令和5年度)	62.0%	66.0%
	④周囲の人たちと「お互い様」の関係性があると感じている人の割合 	69.6% (令和5年度)	73.0%	76.0%
	⑤地域の居心地が良いと思っている人の割合 	63.4% (令和5年度)	68.0%	72.0%
	⑥積極的に挨拶を交わす人が多いと感じている人の割合 	39.0% (令和5年度)	44.0%	48.0%
	⑦人々が集まり活動できる「場」があると感じている人の割合 	43.1% (令和5年度)	46.0%	50.0%
(客観的)	⑧-1 直近の市議会議員選挙投票率 	43.28% (令和5年度)	50.00%	55.00%
	⑧-2 直近の市長選挙投票率 	44.49% (令和4年度)	50.00%	55.00%
	⑨市内公共施設利用者数 ^{※2} 	726,020人 (令和4年度)	785,500人	805,500人
暮らしやすさ指標(主観的)	⑩心身ともに元気に暮らせている人の割合 	56.3% (令和5年度)	59.0%	62.0%
	⑪働く場があると感じている人の割合 	22.1% (令和5年度)	25.0%	28.0%
	⑫困っている人の声が届きやすいと感じている人の割合 	24.5% (令和5年度)	28.0%	31.0%
	⑬滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 	68.3% (令和5年度)	72.0%	75.0%
	⑭子ども達が生き生きとしていると感じている人の割合 	42.6% (令和5年度)	46.0%	50.0%
(客観的)	⑮人口(岩手県毎月人口推計における毎年度10月1日時点の滝沢市の人口推計値) 	55,467人 (令和4年度)	55,500人	55,500人
	⑯一人当たり課税対象所得額 ^{※3} 	2,624千円 (令和4年度)	2,700千円	2,800千円















※2 市内公共施設…ビッググループ滝沢、北部コミュニティセンター、滝沢ふるさと交流館、葉の木沢山活動センター、地区コミュニティセンター及び市内体育施設
 ※3 一人当たり課税対象所得額…市民税課税の対象所得額(非課税者を除く。)を納税義務者数で除して得た金額(翌年度の7月末日現在)

市の行政運営(前期基本計画市域全体計画)

市は、「重要な5つの視点」と「7つの部門別計画」に基づく市政運営によって、市民主体の地域づくり活動への支援と市民生活の基盤を堅持するための取組を進めます。

7つの部門別計画

滝沢市自治基本条例第5条に定める「めざす地域の姿」を踏まえた7つの部門を設け、それぞれ部門ごとの計画を策定しています

部門 (実現に寄与するSDGs)	部門が目指す4年後のまち (ビジョン=政策名称)	部門の進捗に関連する指標
市民環境部門 	やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち 	地域とつながっていると感じている人の割合 【基準値】令和5年度 42.7% → 【目標値】令和9年度 45.1%
健康子ども部門 	こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち 	①自身が心身ともに元気と感じている人の割合 【基準値】令和5年度 56.3% → 【目標値】令和9年度 59.0% ②こどもが大切に育てられていると感じている人の割合 【基準値】令和5年度 79.0% → 【目標値】令和9年度 83.0%
福祉部門 	誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち 	老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 【基準値】令和5年度 16.2% → 【目標値】令和9年度 18.2%
経済産業部門 	様々な産業の活性化が繋がりを広げるまち 	①現在の仕事に満足している人の割合 【基準値】令和5年度 48.5% → 【目標値】令和9年度 53.0% ②活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合 【基準値】令和5年度 20.4% → 【目標値】令和9年度 24.0%
都市基盤部門 	ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち 	滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 【基準値】令和5年度 68.3% → 【目標値】令和9年度 72.0%
教育文化部門 	学びにより充実した人生を送ることができるまち 	①子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 【基準値】令和5年度 59.0% → 【目標値】令和9年度 63.0% ②趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 【基準値】令和5年度 13.8% → 【目標値】令和9年度 17.0%
政策支援部門 	新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門 	①滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 【基準値】令和5年度 36.8% → 【目標値】令和9年度 40.8% ②市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 【基準値】令和5年度 46.6% → 【目標値】令和9年度 50.6%

重要な5つの視点



政策の実現手段となる施策

- 施策1：つながり支え合う、市民主体の地域づくり
- 施策2：安全で安心できるまちづくり
- 施策3：自然と共生し、資源を大切にする生活環境づくり
- 施策4：環境変化に対応し、安心で信頼される窓口づくり

- 施策1：健康意識と行動を変える健康づくりの総合企画
- 施策2：子どもが安心して暮らせる環境づくり
- 施策3：妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化
- 施策4：安心して暮らせる社会保険制度の推進

- 施策1：住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現
- 施策2：生活困窮者が安定した暮らしができるようにするための支援の推進
- 施策3：自分らしく暮らせる長寿社会の実現
- 施策4：高齢者が地域で暮らし続けられるための支援の推進

- 施策1：連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備
- 施策2：ICT関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化
- 施策3：多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造
- 施策4：新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進

- 施策1：活力ある都市づくりの推進
- 施策2：計画的な道路整備と維持管理の推進
- 施策3：河川及び公園の計画的な整備・改修と維持管理の推進
- 施策4：上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信
- 施策5：安心・安全かつ強靱な上下水道施設の整備と自然環境保全及び水循環の推進

- 施策1：安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実
- 施策2：「生きる力」を育む学校教育の充実
- 施策3：生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進
- 施策4：文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興
- 施策5：望ましい食習慣を育む学校給食の充実

- 施策1：新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築
- 施策2：行政経営による総合計画の推進
- 施策3：たきざわの魅力発信による愛着づくり
- 施策4：デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用
- 施策5：次世代につなげる財政運営
- 施策6：適正で効率的な課税事務の推進
- 施策7：市政経営のための確実な税財源の確保
- 施策8：市民に信頼される会計事務の実現

限られた経営資源を効果的かつ効率的に活用するため、市の特徴や、市民から寄せられた意見等を踏まえ、政策展開に当たって重視すべき視点を5項目設けています。また、毎年度視点に特に関連性が高い事業を重点事業として選定し、重点的に事業展開を図ります。

視点1 つながる滝沢

家族や周囲の仲間、地域で共に活動する人のほか、多様ななかわりあいの中で信頼関係を築きながら、住民協働による住民自治の深化を目指して、人と人とのつながりの構築を進めます。

また、つながりの構築を通じて、お互いが共感し合う関係性をより深め、本市の考える「やさしさ」を実感できる環境づくりを進めます。

(特に関連する部門：市民環境部門、都市基盤部門)

視点2 こどもまんなか滝沢

急速に変化する社会においても、次代を担う子どもたちが笑顔で健やかに暮らすことができるように、子どもを安心して産み育てられる子育て環境の充実に取り組むとともに、子育てをみんなで助けあいながら、家庭や地域が一体となって子どもの成長を後押ししていく「こどもまんなか」の地域社会の創出を目指します。

(特に関連する部門：健康こども部門、教育文化部門)

視点3 いきいき滝沢

多様なライフスタイルが尊重される中、子どもから高齢者まで、また障がいのある方もない方もそれぞれが共に支え合い、健やかに安心していきいきと暮らせる取組を進めるとともに、生きがいややりがいがある環境づくりを進めます。

(特に関連する部門：健康こども部門、福祉部門、教育文化部門)

視点4 まなぶ滝沢

岩手県立大学や盛岡大学が立地している本市の特徴を活かし、門前町構想^{※4}の深化を図りながら、高等教育機関の専門的な知見を生かした学びの機会創出のほか、社会に出たあともそれぞれが必要なタイミングで学びなおしに取り組むリカレント教育の振興など、市民の皆さんの学びにつながる環境づくりを進めます。

(特に関連する部門：経済産業部門、教育文化部門)

視点5 はたらく滝沢

本市の特徴でもある若い世代の存在に加え、大学が立地している本市の特徴を生かして、市内に働く場を創出するための取組を進め、若者を中心とした市民の皆さんが、自分らしく働くことができる環境づくりを進めます。

(特に関連する部門：経済産業部門)

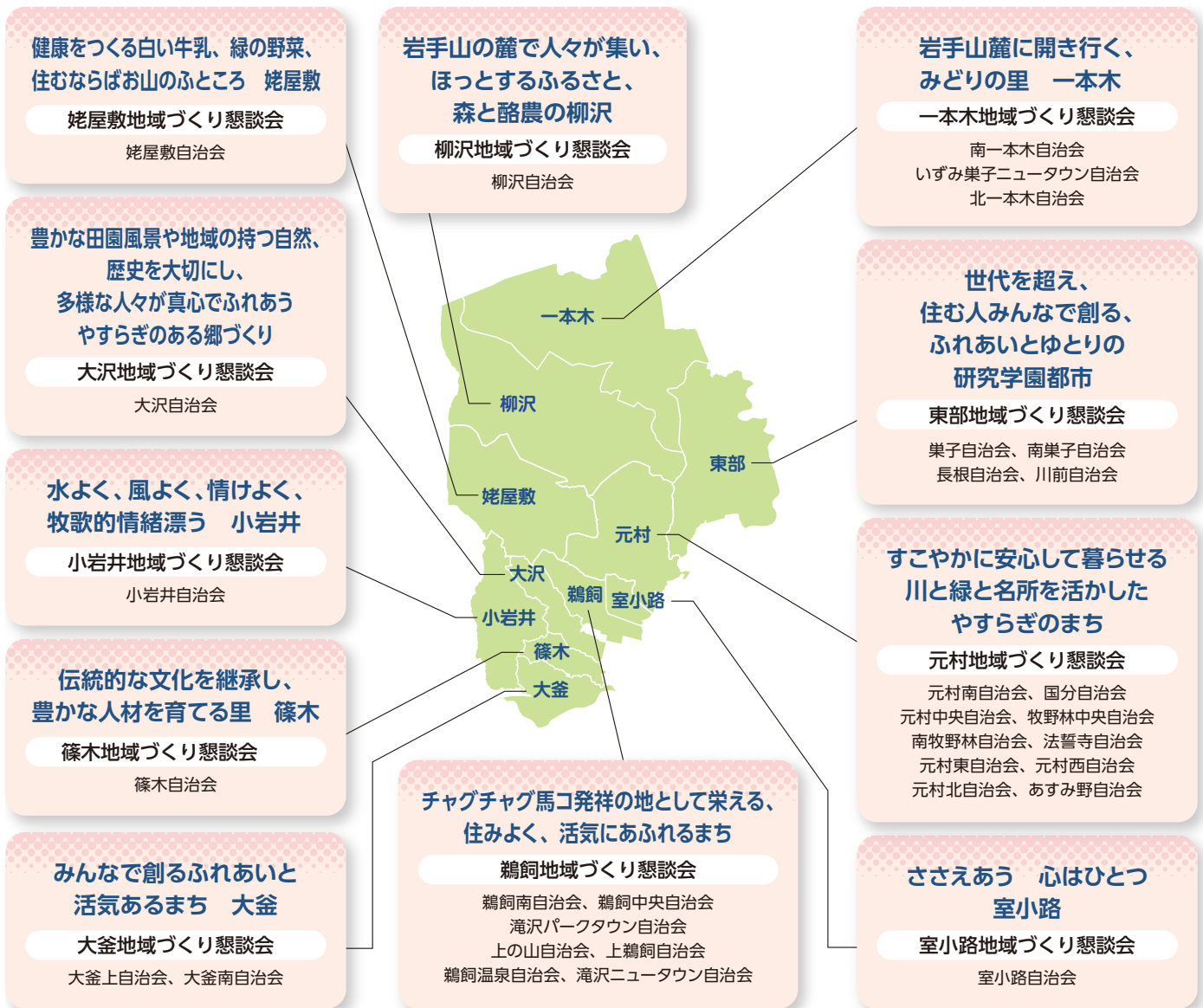
※4 岩手県立大学初代学長である故澤澤潤一氏による構想。「大学を創設するだけでなく、大学を中心としたまちづくりを進め、産業集積をめざすこと」を大学開学前より提唱していた。

地域別計画

地域別計画は、地域ごとの課題解決と幸せづくりを目的として策定した計画で、市民自身が想像する「目指す地域の姿」を実現し、持続していくための市民の行動計画です。計画には、「目指す地域の姿」のほか、「地域の現状と課題」、「目指すべき地域づくりの方向性」、「具体的な取組」、「地域の宝物」などが掲載されています。

現在市内に32ある単位自治会の体制を踏まえ、単独か複数の単位自治会の組み合わせにより、市内11の地域で策定しています。策定に当たっては、単位自治会や地域まちづくり推進委員会の他、公益活動を行う団体と個人が参加して「地域づくり懇談会」を開催し、取りまとめました。

今後、各地域別計画を推進し、定期的な見直しも行いながら、基本構想が掲げる「やさしさに包まれた滝沢」に向けた仕組みづくりを進めます。



各地域別計画の目指す地域の姿、対象地区及び構成自治会